



仙果録

弁題曲の國

九八編上

紅英堂上梓



雪梅 二拾八編上

芝罘

大法 双糸

笠亭仙果

紗線

梅蝶樓國貞

西島

紅葉

上梓



雪梅芳譜第廿八編

北越蘭牛畧説



笠亭仙果鈔録

越後州古志郡有二十村、東山邊の惣名少く實は二十六村あり、屬村を加へて五十村あり、  
 及ぶ諸比下村より葦屋逃入虛木の三ヶ村合保の鎮守の神を十二大権現と稱て各其村に神祠有  
 以神の糸とて毎年三四月の間宿雪消果る遅速中より定日あり又定る地所もあらず、笠大  
 寅又申の日に當り吉日と定て里入蘭牛を具行きて且を俚語小牛の角突と呼り、三月の時  
 よりあるまゝんその始をあらば家小養う牛有て出いて鬪せんと思ふ、その未本日  
 定らざとも三月ふれハ飼料小生平より物を多く折々餅を食せ、既小本日定めり  
 てハ牛の澤とよくせんとして蠟種或ハ油雜巾もて幾遍とる、拭ハ程ハ毛色日頃ハ十倍は壯  
 國の習俗ハカ々の牛馬初冬の頃より明年の三四月まで皆是、一匹種小閉籠らるる、  
 出されハ林不足氣を養て肥太り、その事ハ況蘭牛不出えと思ふ牛の主ハ物の貴  
 と厭て妻子奴婢する牛の為ハ心を用ゐる鍾愛月頃ハ弥増せり、牛ハ南部の牧  
 早少ハ佐渡あり、地牛あり、その毛色も、黄牛、蒼牛、黒白、桃花、四足、白虎、文、縞、白、  
 絞、小六出様、その雜毛も、あ、く、扱、牛、奴、と力士と唱、究竟の壯少者、或ハ紺、或ハ花田、の山

夾衣不紺の股引脚絆を穿き又附融とのを穿るもの多し又手甲の華美を  
 益一袴の絳纈纈小蒼く白く縁をとり肚甲の郡内縞縹半のこやう小美を盡し  
 帶踏皮副帶手拭まく風流を肯く草鞋の白紙を拵り紺の麻索もて綱を  
 此者七八十名あるべし又牛裁判のりもの有て東西の力士共備争ひを起せしむ者必これ  
 と和寛と燕異不治むる宗と又牛少主の名を被て某村の甲石工門ム村のこ八ると呼古  
 の名馬のそと別小名づる事也借其當場のありる見物の為不枯結縹草の上小筵布  
 渡し出茶屋あり酒舗あり蕎麦團子煮染物饅頭菓子と饗用くもの只この一日を期  
 と之郷鄰郡へこの遠東の老若男女も觀んとてこふ聚ふもの食高より見下らん  
 と岡よりつ排徊す夥の牛の野邊珍一氣不猶繫きて敵を思ふ大なるもの高四  
 尺四寸及ぶもの鉢膝と名づけ角の筋の緋縮緬或ハ紅の圓統の紉をもて兩  
 角不緘むその為体目と敬篤ぬものゝかくて牛の期を待負不折高く吼る声物然と  
 るて獵り實ふ海内燕雙の壯觀也以上本文  
 ○扱角力の光景と衆牛の勝負ハ本文外畧鈔せり



漢土其  
 角能戲

述異記云  
 秦漢間説

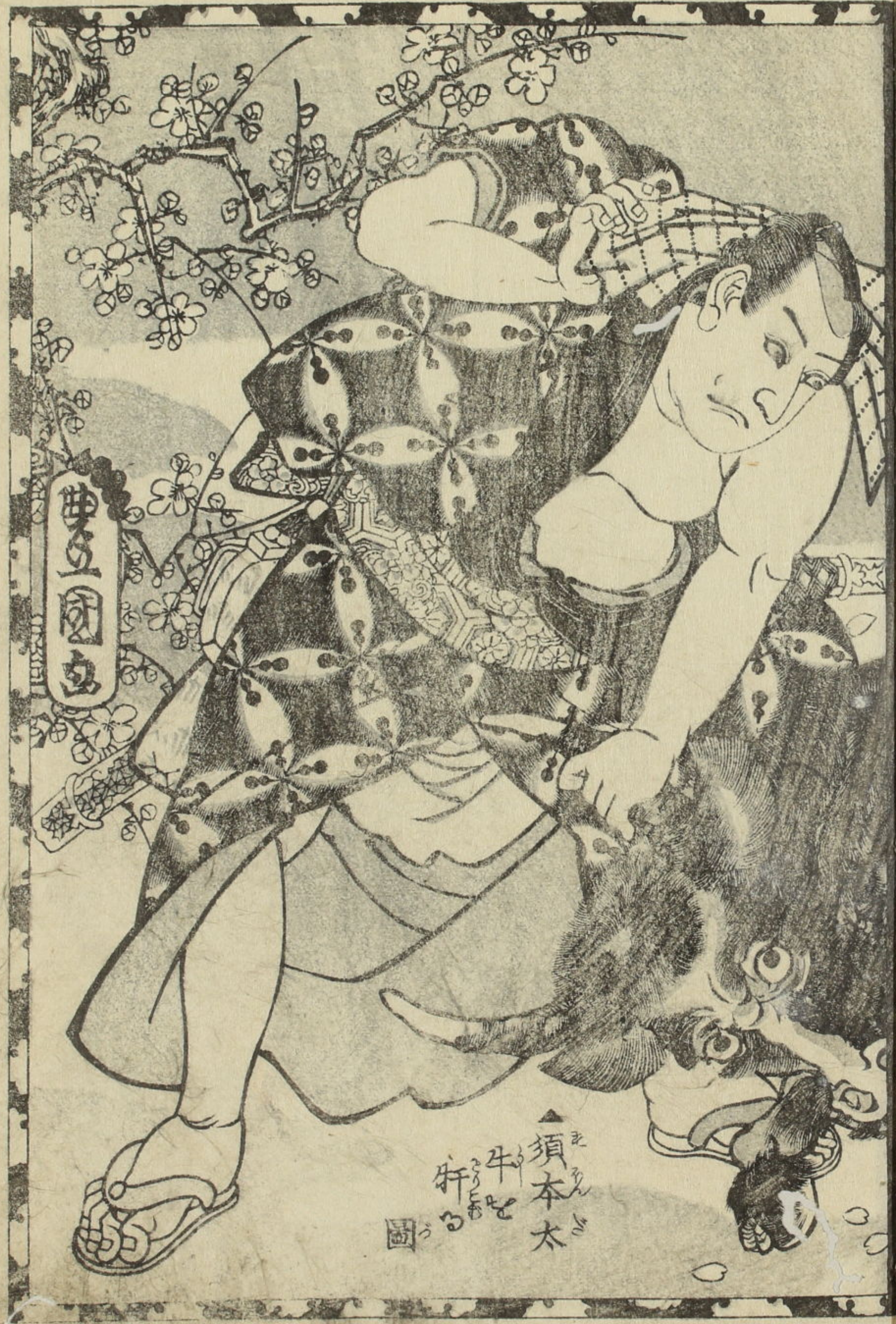
蚩尤氏耳鬣如劍戟  
 頭有角與軒轅闢以

●角能人  
 人不能

向今冀  
 列有

樂名  
 蚩尤戲

△其民  
 兩々三々  
 頭戴牛  
 角而相  
 能漢造  
 角能蓋  
 其遺製  
 也



東國

須本太  
牛  
軒  
圖



犬  
小  
文  
田  
五  
様  
須  
北  
越  
牛  
場  
小





高部いかに...  
 三つ...  
 寺...  
 ...

...  
 ...  
 ...



...  
 ...  
 ...

...  
 ...  
 ...













小大五を上等の品とす  
 ... (transcription of vertical text) ...

小大五を上等の品とす  
 ... (transcription of vertical text) ...



小大五を上等の品とす  
 ... (transcription of vertical text) ...

小大五を上等の品とす  
 ... (transcription of vertical text) ...

仙果録國貞画



Horizontal text columns on the right side of the image, likely providing commentary or descriptions related to the illustrations.

家本 實母散

中稿 南傳馬二自東側 千葉堂孝輔製 花方実母さん 一切の物 南伝馬二自西... 仙果録 信州上田東山堂製

せんきののゆき

御用薬所 信州上田東山堂製

せんきののゆき 一色 四八拍 せんきののゆき 一色 九四拍

大日本國郡輿地全圖

大奉書 六枚繼

府郷御江戸繪圖

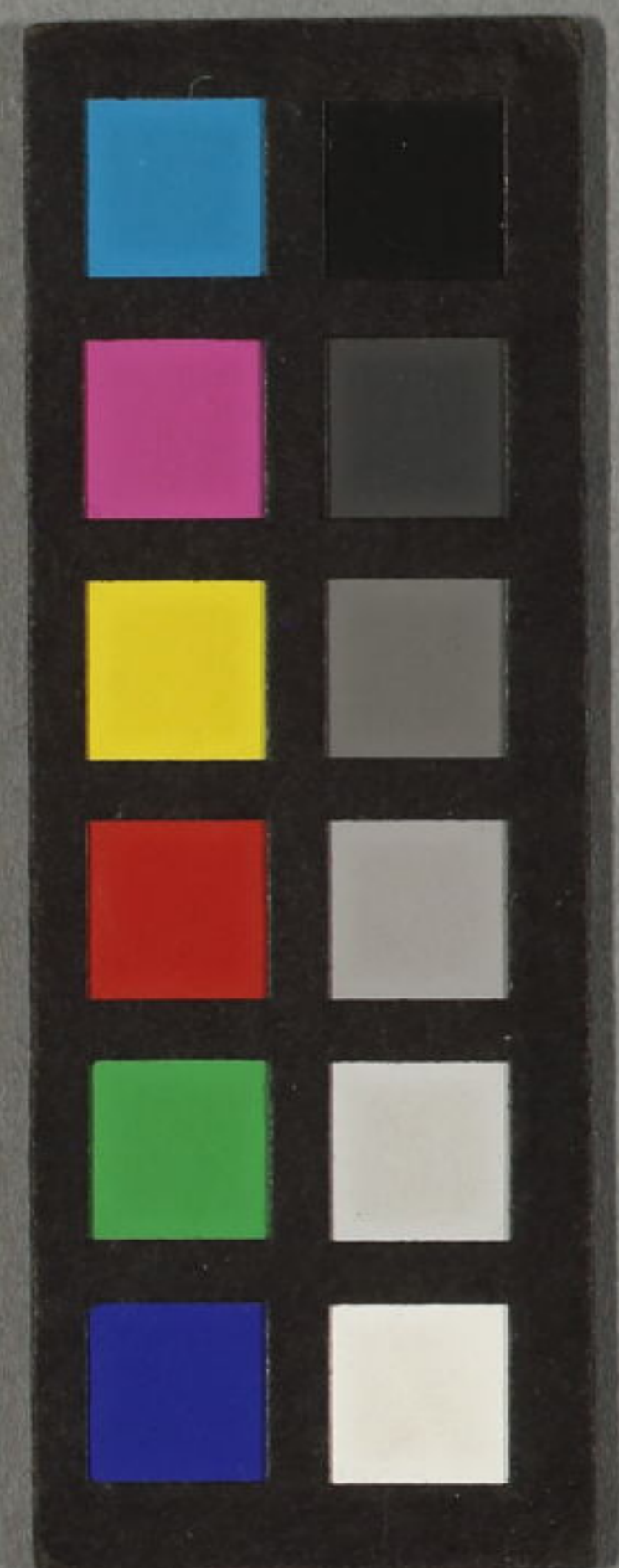
同断 六枚繼

せんきのの茶 取次所

繪葉紙問屋

鳥屋吉吉







雪梅草繪  
 以物乃さし  
 二十八日  
 美乎仙果抄録  
 一書の巻頭頁画  
 一宮新板

若者  
 上梓





Handwritten text in Japanese and Latin script, likely describing the ox's characteristics or uses.

Handwritten text in Japanese and Latin script, likely describing the ox's characteristics or uses.

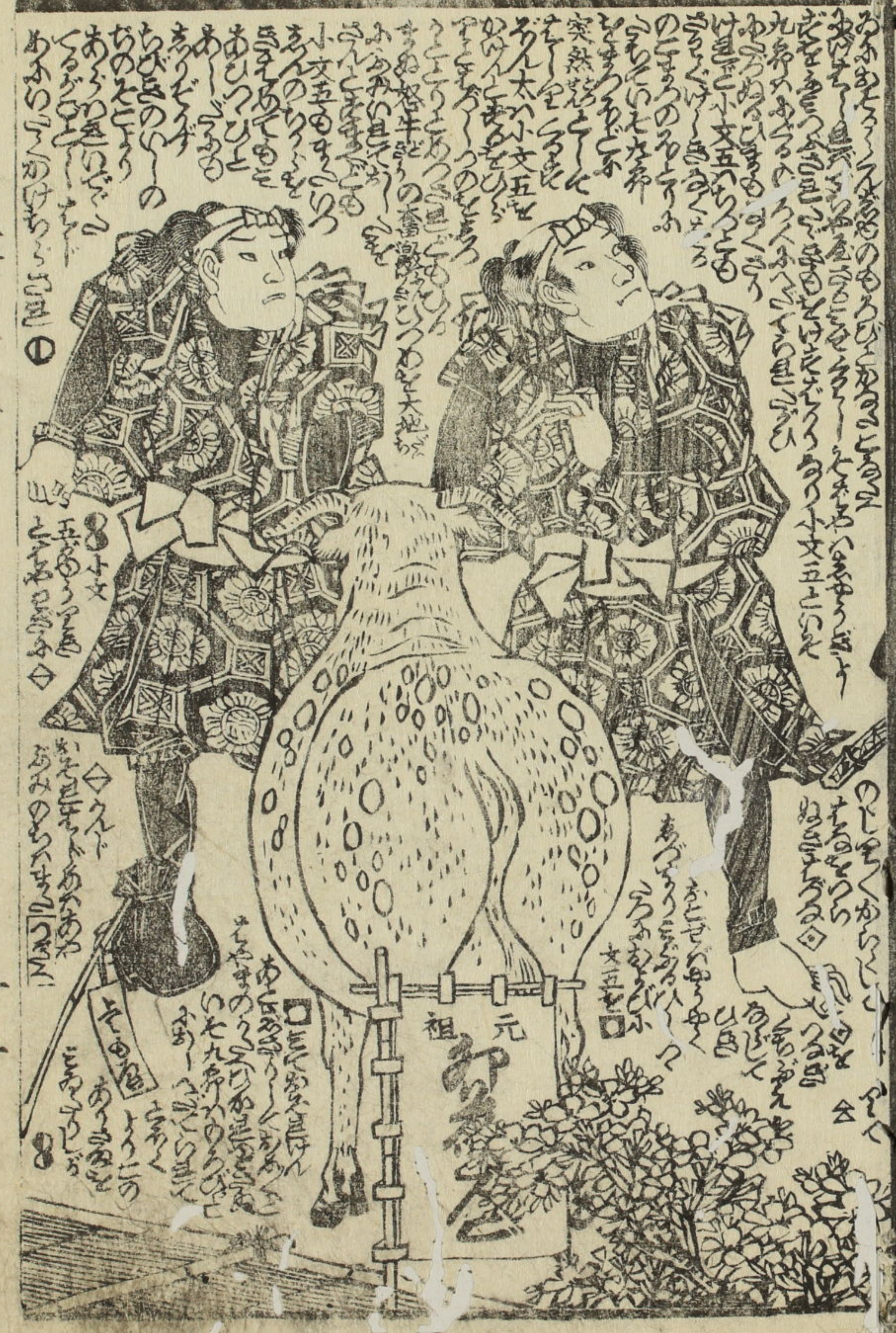
Handwritten text in Japanese and Latin script, likely describing the ox's characteristics or uses.



Handwritten text in Japanese and Latin script, likely describing the ox's characteristics or uses.

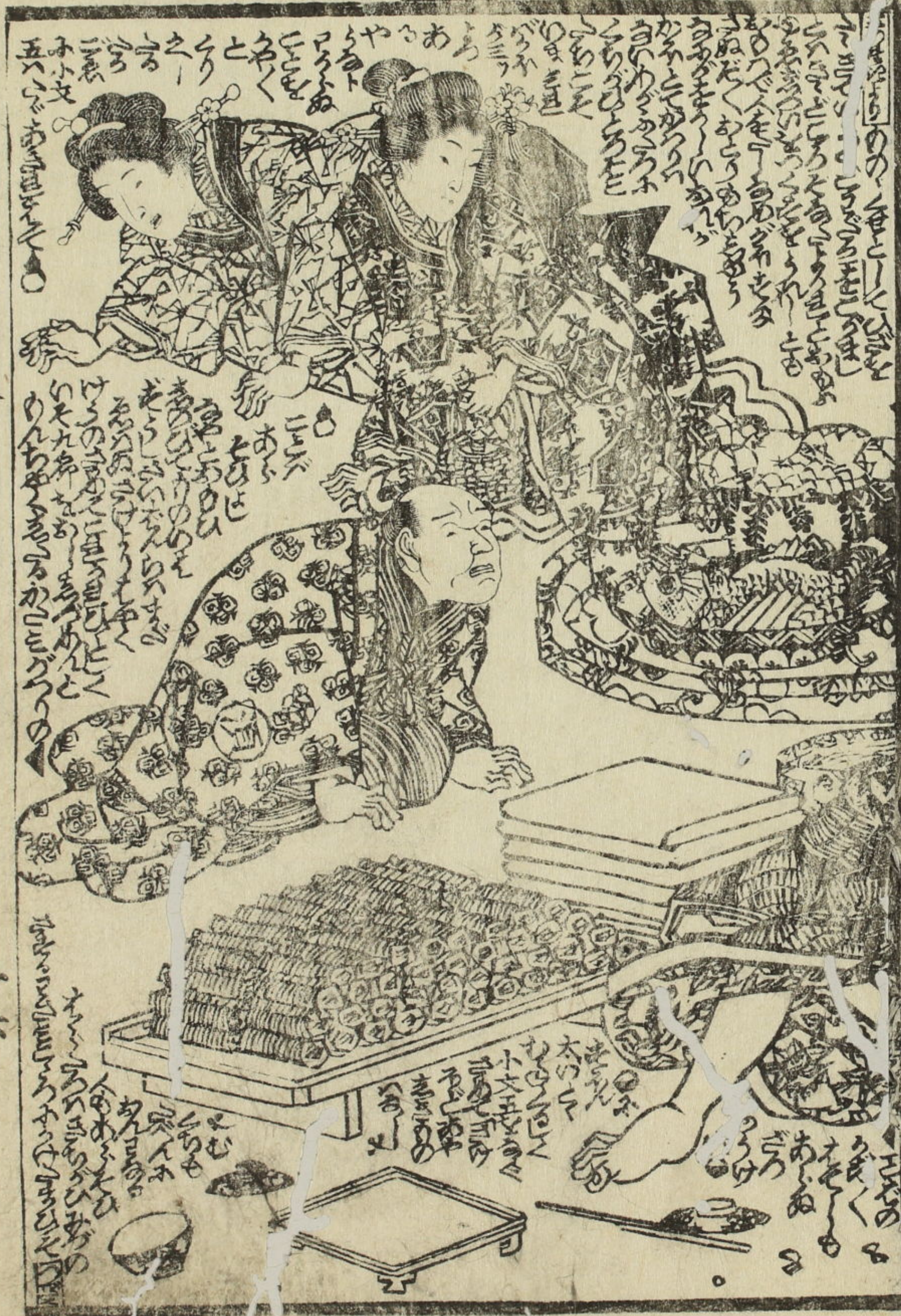
Handwritten text in Japanese and Latin script, likely describing the ox's characteristics or uses.

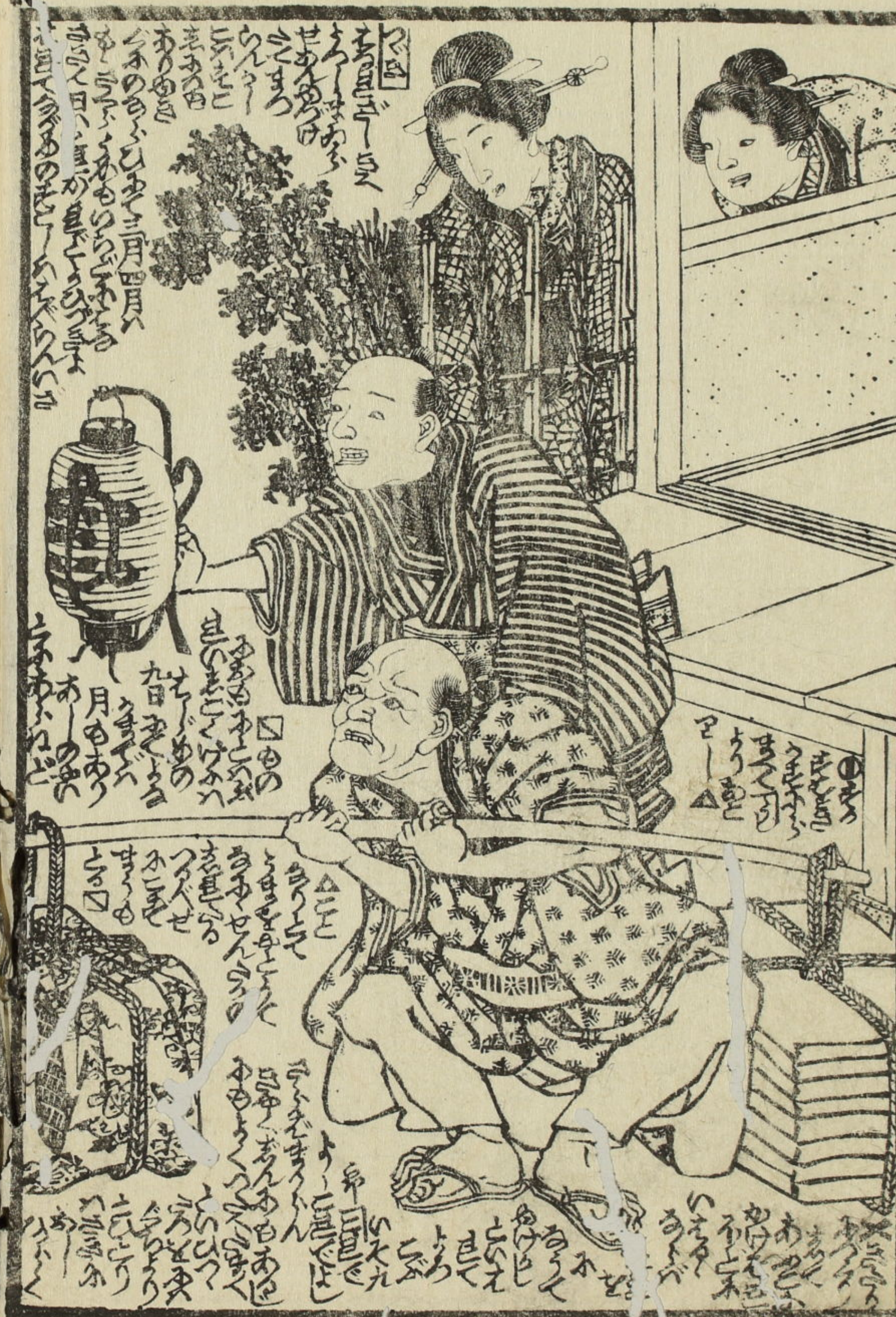
Handwritten text in Japanese and Latin script, likely describing the ox's characteristics or uses.













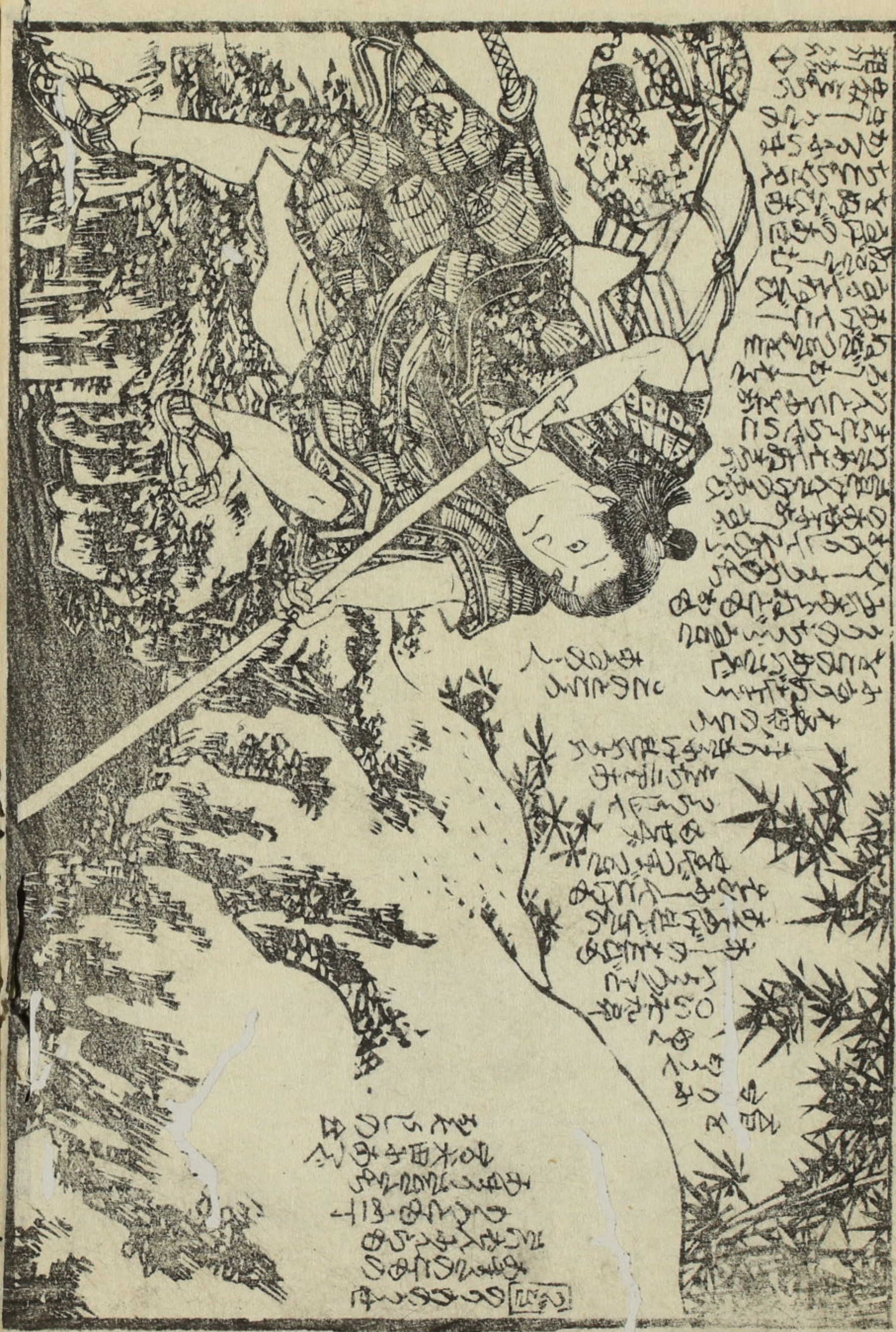


Handwritten Japanese text in the upper right corner of the left page, arranged in several lines.

Handwritten Japanese text on the left margin of the left page.

Handwritten Japanese text on the left margin of the left page.

Handwritten Japanese text within the illustration on the left page.



Handwritten Japanese text in the lower left corner of the right page, arranged in several lines.

Handwritten Japanese text in the upper right corner of the right page, arranged in several lines.

Handwritten Japanese text on the right margin of the right page.

Handwritten Japanese text on the right margin of the right page.



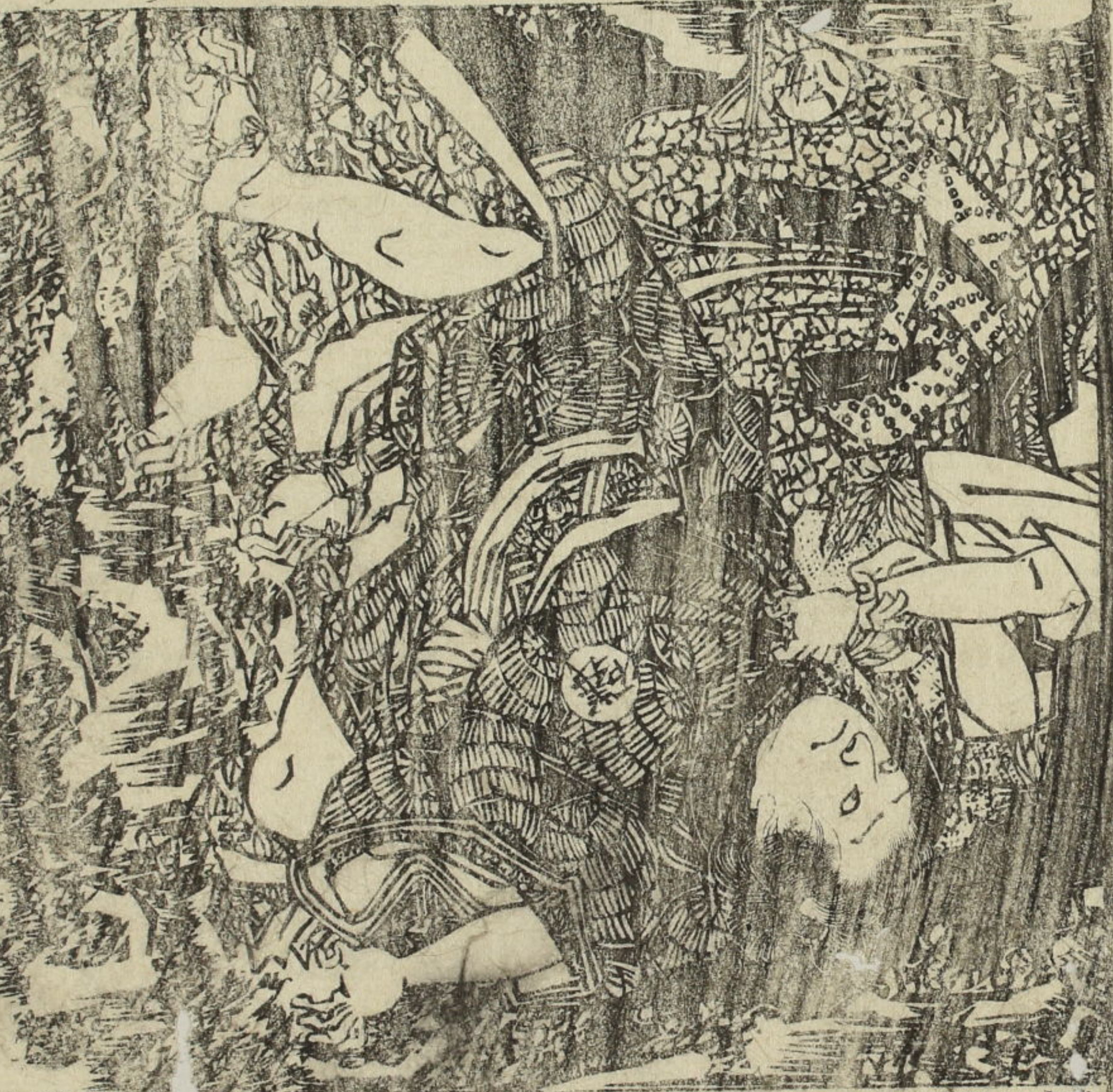
此の事は...  
 天の...  
 地の...  
 人の...  
 神の...



此の事...  
 天の...  
 地の...  
 人の...  
 神の...

此の事...  
 天の...  
 地の...  
 人の...  
 神の...

此の事...  
 天の...  
 地の...  
 人の...  
 神の...



此の事...  
 天の...  
 地の...  
 人の...  
 神の...

嘉永七甲寅新春新鐫目錄

大晦日曙草紙 九編 京山作  
おひろとろあけのさう

八犬傳大冊紙 共編 仙果錄  
やうん ねい

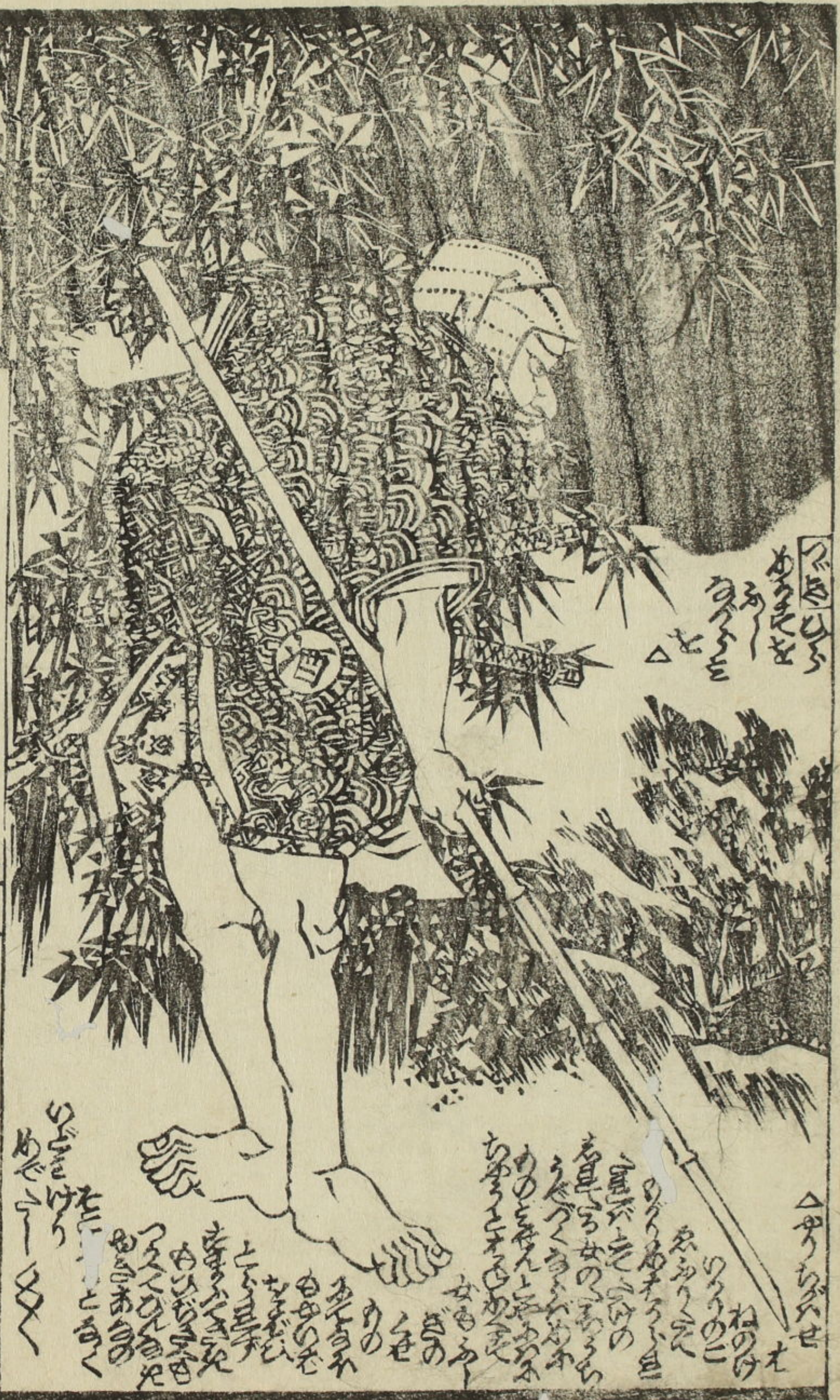
御贄美少年始 十編 同 錄  
おびらびやうねん

俠客傳小摸略說 十編 西馬譯  
けりくせん あまかろと

嶋巡浪間朝景 六編 種貞譯  
あまめぐりかみのあしひら

古今草紙合 十編 仙果作  
ここんくさしあわせ

笠亭仙果鈔録梅蝶樓國貞画



連理翅山雞奇縁 三編 西馬補  
れんりのせやまどりきん

松浦船水棹婦言 三編 仙果錄  
まつらふねみづさしづめこと

八重撫子累物語 二編 同 錄  
やえなごころもりのくさ

花叢笠梅雅物語 三編 西馬譯  
はなむらぎうめみやぶりのくさ

小幡平次物語 初五瓶作  
こたねのへいぢのくさ

東都南傳馬問屋吉藏板  
東都南傳馬問屋吉藏板

